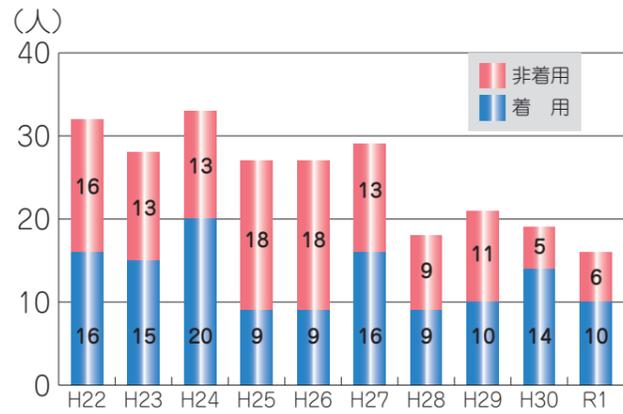


自動車乗車中死者のシートベルト着用状況の推移(10年間)

※ミニカー・特殊車を除く。着用不明は非着用を含む。



令和元年中の自動車乗車中死者16人

着用 10人

着用率

62.5%

非着用 6人

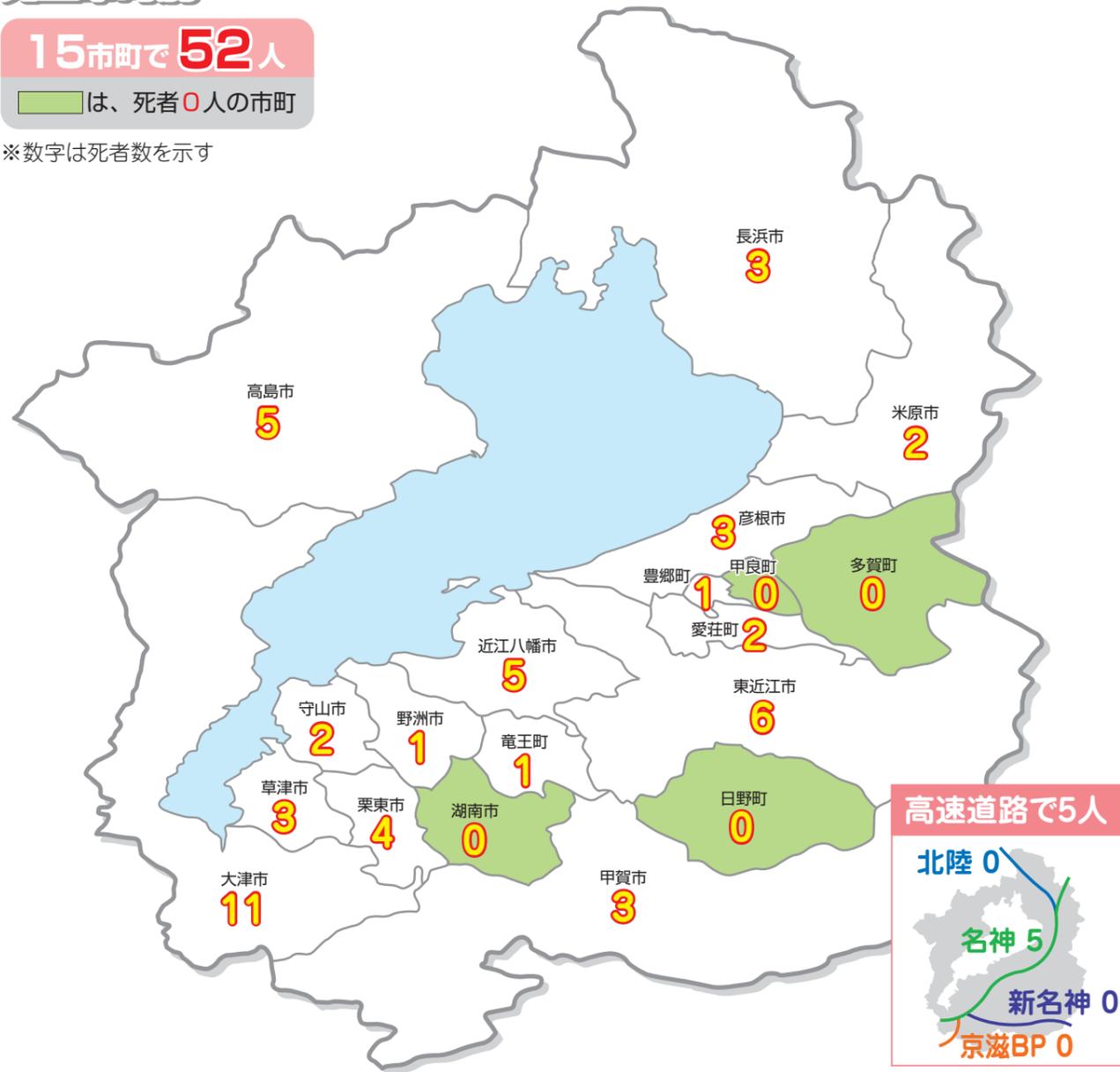
- 自動車乗車中死者のシートベルト着用率は前年と比べて減少したうえ、依然として約4割が非着用
- 非着用者6人の内3人(50.0%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性がある。

発生市町別

15市町で52人

は、死者0人の市町

※数字は死者数を示す



高速道路で5人



死者の県内外別

県内者 45人(78.9%)

県外者 12人(21.1%)

令和元年中の交通事故

(※平成31年中を含む)

交通事故発生状況

発生件数 3,647件
(前年対比: -565件 -13.4%)

死者数 57人
(前年対比: +18人 +46.2%)

負傷者数 4,592人
(前年対比: -769人 -14.3%)

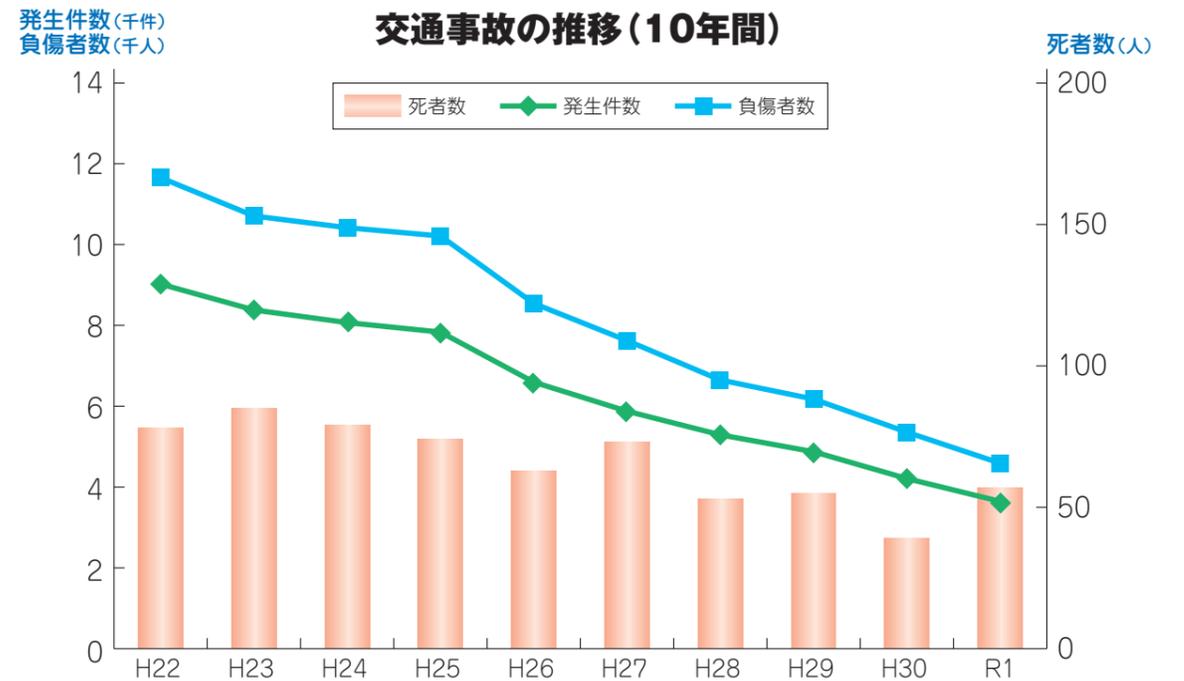
1日平均の事故

発生件数 10.0件

死者数 0.2人

負傷者数 12.6人

発生件数、負傷者数は9年連続で減少し、死者数は前年比18人増加



区分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
発生件数	9,023	8,383	8,071	7,836	6,598	5,879	5,294	4,876	4,212	3,647
死者数	78	85	79	74	63	73	53	55	39	57
負傷者数	11,656	10,709	10,419	10,214	8,545	7,625	6,651	6,178	5,361	4,592

滋賀県警察本部

令和2年度 滋賀県交通安全スローガン

速さより マナーで競う 湖国道

死亡事故の分析

～発生54件、死者57人～

※ 死者とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人をいう。

月別死者数



5月の死者数が9人と最も多かった。
7月の死者数が最も少なく、過去5年平均の約4分の1であった。

曜日別死者数



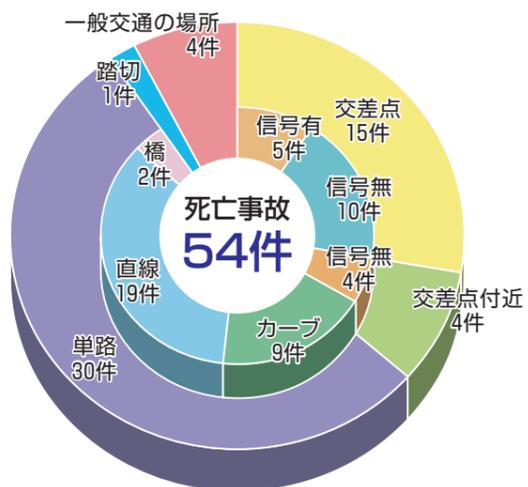
月・土曜日の死者数が11人で最も多かった。
金曜日の死者数が過去5年平均と同様に最も少なかった。

時間別死者数



18時台の死者数が過去5年平均と同様に最も多かった。

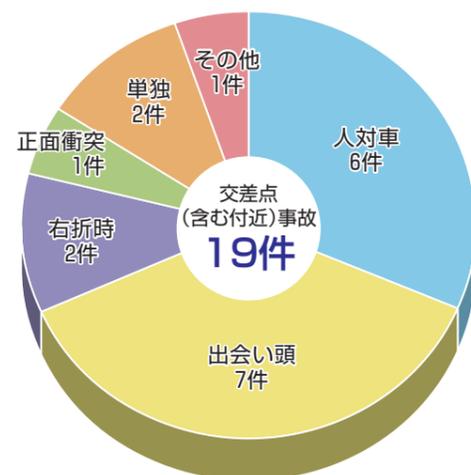
道路形状別件数



単路(直線、カーブ等)が55.6%を占める。

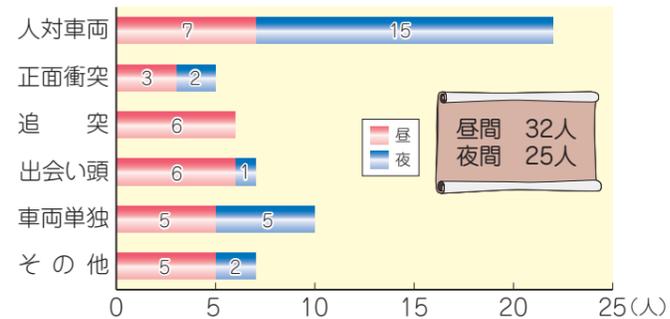
交差点(含む付近)事故の類型別件数

※ 交差点付近とは、交差点からおおむね30メートル以内をいう。



出会い頭が7件、人対車が6件で併せて68.4%を占める。

昼夜別事故類型別死者数



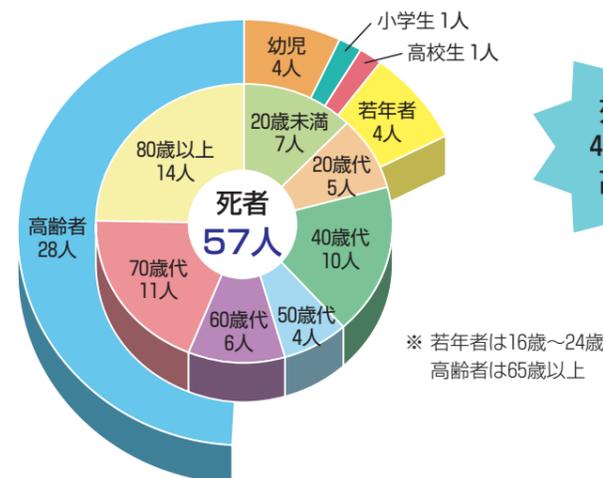
昼間の死者数が夜間を7人上回った。
人対車両による死者が最も多く、夜間が15人を占める。

状態別死者数



歩行中の死者が最も多く、全死者の43.9%を占める。(前年比+13人)

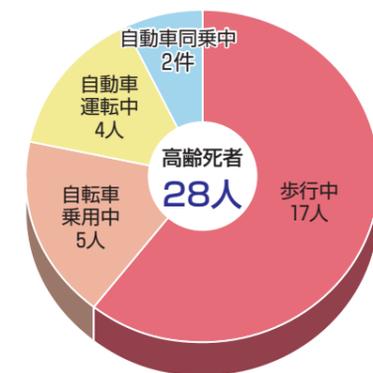
年齢層別死者数



死者の49.1%が高齢者

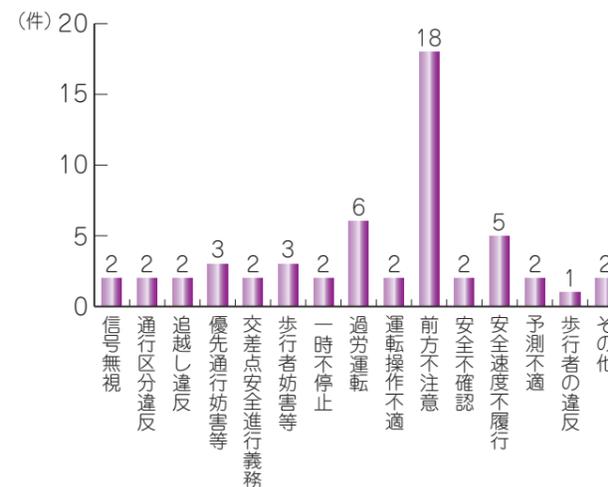
※ 若年者は16歳～24歳
高齢者は65歳以上

高齢死者の状態別



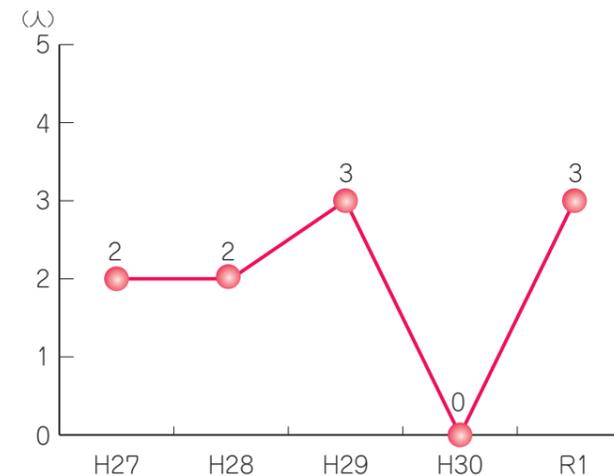
高齢死者の6割以上を歩行中死者が占める。

第1当事者の違反別件数



前方不注意による死亡事故が最も多い。

飲酒運転による死者数の推移



前年は発生がなかったが、3人が亡くなった。